

平成15年度に発生した農薬中毒事故の集計結果について

平成15年度に都道府県等が把握した農薬中毒事故を集計した結果、その総数は241件であり、そのうち、死亡が161件、中毒*¹が80件であった。原因別に見ると、誤飲・誤食や農薬散布に伴う事故*²が26件、自他殺等が215件であった。

以下、自他殺等を除く26件についてその内訳を示す。

表1 区分別農薬中毒者数内訳

件数 (人数)		
死亡	毒物	2(2)
	劇物	0(0)
	普通物	1(1)
	不明	3(3)
	小計	6(6)
中毒	毒物	2(2)
	劇物	9(17)
	普通物	5(5)
	不明	4(4)
	小計	20(28)
合計		26(34)

表2 区分別原因別農薬中毒事故

件数 (人数)		
農薬散布に伴う事故	毒物	1(1)
	劇物	9(17)
	普通物	4(4)
	不明	4(4)
	小計	18(26)
誤飲・誤食	毒物	3(3)
	劇物	0(0)
	普通物	2(2)
	不明	3(3)
	小計	8(8)
合計		26(34)

表3 原因別農薬中毒事故内訳 (詳細)

原因	件数 (人数)
マスク・メガネ及び服装等装備不十分	4(4)
強風中や風下での散布、農薬の安易な取扱いなど本人の不注意	7(7)
長時間散布による疲労や不健康状態での散布	1(1)
保管管理不良、泥酔等による誤飲・誤食	8(8)
農薬使用後の作業管理不良	2(10)
散布農薬のドリフトによるもの	3(3)
体質的アレルギーによるもの	1(1)
薬液運搬中の容器破損又は転倒など偶発事故	0(0)
その他	0(0)
原因不明	0(0)
合計	26(34)

*1 中毒には、受診を行わなかったもの、咽頭痛などの中軽症のものも含まれる。

*2 誤飲・誤食や農薬散布に伴う事故には、発生時等の状況が不明のものも含まれる。